

平成28年度 上田市立菅平小・中学校 学校関係者評価シート

学校教育目標	めざす子どもの姿	今年度の重点目標
郷土を拓く大地の教育	①他者への感謝の気持ちを持ち続ける子ども ②自分の良さに気付き自信をもてる子ども ③互いの良さを認め合える子ども ④自ら考え課題を解決しようとする子ども ⑤困難にくじけず挑戦する子ども ⑥郷土に誇りをもち、郷土を愛する子ども	(1) 互いの良さを認め合い、前向きに取り組む集団生活をめざす。 (2) 自ら進んで学習する子どもの育成をめざす。 (3) 菅平の産業に学び、郷土に生きる人材を育てる。

領域	対象	【評価項目】及び【評価の観点】	評価	ご意見
教育活動	生徒指導	【発見と啓発】 相手の良さに気づき、発信しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 素直な子が多く、生徒指導上の大きな問題がないというの は良い。 少人数で、一人一人に目がよく行き届くというのは、とて も良いことではあるが、子どもたちにとっては、いつも見 られているというストレスにもなるのではないか。 子どもたちが抵抗を感じるようなことにも取り組ませるこ とが、その子の成長につながると思う。
		【相手意識のある挨拶】 コミュニケーション能力を高めているか。	A	
	学習活動	【学習の約束】 学習習慣の定着は図られているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> スキーシーズンに入ってから、学習とスキー活動の両立が 難しくなっているのではないか。学習進度や内容などを検 討してみるのもよい。 少人数での授業の良さを活かし、個で取り組む時間とクラ ス全体で取り組む時間のバランスを均等にとると良いので はないか。 スキー大会参のために、欠席している児童生徒が多くいる ときに、どのように授業を進め、それらの児童生徒に、ど のように学力を保障するのか、課題であるように思う。
		【学力定着】 小・中学校の先生が連携して授業を行っているか。	A	
		【授業改善】 分かりやすい授業になっているか。	B	
	キャリア教育	【地域との交流】 この地での生活に喜びを感じているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 菅平で生活していることの良さを子どもたちが感じている というのは良いことだと思う。子どもたちが菅平の良さを 当たり前と思うのではなく、より実感できるような支援も 必要だと思う。また、地域の問題点について知ること大切。
【地域を知る】 地域の産業を理解しているか。		A		
学校運営	学校づくり	【めざす保護者像・教師像】 子どもの良さを見つけ、励ます教師・保護者	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域と協力し、保護者の理解を得ながらよく連携して学校 運営にあたっているところは素晴らしい。地域や保護者と 議論して、今までのことを変えたり、新しい事を取り入れ たりすることも、必要ではないか。
		【めざす保護者像・教師像】 優しく、厳しく子どもを導く教師・育む保護者	A	
		【めざす保護者像・教師像】 楽しく分かる授業を創造する教師・期待する保護者	A	
		【めざす保護者像・教師像】 地域と連携する教師・学校と連携する保護者	A	
その他		【楽しい学校生活】	A	<ul style="list-style-type: none"> 多くの子どもたちが「学校が楽しい」と感じているとい うことは、子どもたち同士の人間関係がうまくいっている ことだと思う。

総合的評価

- 1人1人の子どもの声に耳を傾け、子どもたちが「学校が好き、学校に行きたい」と思える学校づくり、地域に開かれた学校という意味では、菅平小中学校はたいへん素晴らしい。これからも、子どもたち、保護者、地域の方々が、自由に発言できる雰囲気を大切にして、より良い学校運営を目指してほしい。
- 子どもたちの可能性を見出し、子どもたち自身に「あと、もう一歩上へ」という気持ちをもたせることができれば更に良い。
- 学校から離れている世代に、どう学校運営に関わってもらおうかが課題。